

第42期

中間報告書

平成28年3月1日から平成28年8月31日まで

 POPLAR

当社独自の事業モデルの確立と、 更なる業務改革を推進してまいります。

拝啓 平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、ここに当社第42期中間報告書(平成28年3月1日から平成28年8月31日まで)をお届けし、事業の概況をご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

平成28年11月



代表取締役社長 目黒 真司

当中間期の業績について

政府、日銀による政策を背景に一部に緩やかな回復基調が見られるものの、円高基調による株価の低迷、英国のEU離脱問題や新興国の成長鈍化など、世界経済の先行き不透明感から、個人消費は力強さを欠く状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、中食イノベーション(=中食食材の鍛えなおし)によって、むすび、デザートなど該当カテゴリーは前年同期の水準を上回ったものの、株式会社ローソンとの共同調達が始まったドライ商品(飲料、酒、加工食品、雑貨)においては、調達共同化の移行期間にあたり旧在庫の処分費の発生や移行期間の店頭販促が想定以上に減少したことから計画利益が下ぶれし、チェーン売上高30,540百万円(前年同期比5.6%減)、営業総収入17,923百万円(同10.7%減)、営業損失50百万円(前年同期実績:営業利益105百万円)、経常損失52百万円(同:経常利益129百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失155百万円(同:親会社株主に帰属する四半期純利益139百万円)となりました。

当中間期の取り組み施策について

●業務改革(=業革)の状況

業革は第3ステージの中食イノベーションのフェーズに入り、むすびの直巻・高級ラインの強化、デザートではロー

ルケーキ・チーズケーキの戦略商品を主力商品に育成、首都圏で先行して彩家デリなどの彩家シリーズブランドの展開を開始、こだわりの逸品弁当、ヘルシー弁当やプレミアム・サンドウィッチの展開を開始しました。中食イノベーション商材を投入したカテゴリーでは女性・シニア層を中心に需要が伸びており、デザート、ライスイン弁当、サラダカテゴリーが既存店前年売上を大幅に上回り、成果を上げています。

●商品・サービスの状況

女性・シニア層をターゲットに昨年末に投入したポップ弁当Lightが引き続き好調に売上を伸ばし、“ポップ”全体の食数が前年同期比102%に拡大しています。また、当社が独自に開拓してきた大型むすびシリーズにおける「大満載むすび」のヒット及びポイント販促を活用した高級むすびシリーズの拡販に伴い、むすびカテゴリー全体が大きく伸長するなど、中食全体が好調に推移いたしました。

今後の見通しについて

第42期の通期連結業績の見通しといたしましては、営業総収入33,438百万円(前連結会計年度比13.8%減)、営業損失382百万円(前連結会計年度実績:営業利益82百万円)、経常損失335百万円(同:経常利益129百万円)、親会社株主に帰属する当期純利益は73百万円(前連結会計年度比21.8%増)を見込んでおります。

経営理念

- 1 常に新しい利便性を追求し、お客様に必要とされる企業になる。
- 2 オーナーに信頼され、取引先、株主様に支持される企業になる。
- 3 商業の正道をもって利益を追求する企業になる。
- 4 社員能力の育成をもって企業発展の礎とし、ひとりひとりの生涯設計のできる企業になる。

ポプラグループのストアブランド

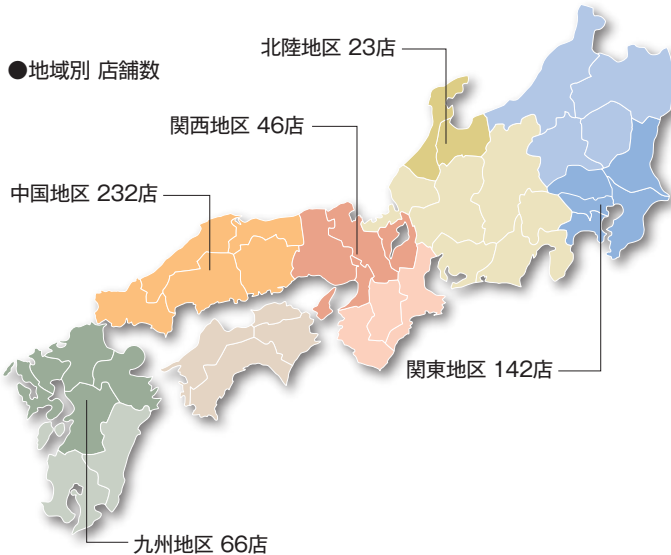


ポプラグループは、住宅街やロードサイドなど、郊外立地を中心に展開する「ポプラ」に加え、都市型コンビニエンスストア「生活彩家」、高速道路にゆとりの空間を彩る「ハイウェイ彩家」、関東・関西地方を中心に展開する「くらしハウス」、「スリーエイト」といった複数のブランドを有し、立地・顧客特性に応じた出店でお客様に支持されるコンビニエンスストアチェーンを目指します。

新規出店の状況

新規出店は、法人加盟の開拓と企業コラボレーションによる出店を推進した結果、千葉工業大学や明治大学などの学内、病院への出店のほか、長崎五島への出店など合計23店舗（閉店32店舗）を実施し、期末店舗数は509店舗となりました。

	前期実績(通期)	当中間期実績	下期計画
出 店	36	23	69
閉 店	43	32	72
期末店舗数	518	509	506



【ポプラ】

- ヒロシマ平松病院店(広島県)
- Aプラス療育センター店(東京都)
- アスカスクウェア杉戸店(埼玉県)
- 千葉ポートタワー店(千葉県)
- 堺鳳北町店(大阪府)
- 能美寺井店(石川県)
- 境港なかうら店(鳥取県)
- 浜田下府店(島根県)
- 江津アクアス前店(島根県)
- 柳井医療センター店(山口県)
- 八幡東区役所店(福岡県)
- 上五島浦桑店(長崎県)
- 上五島有川店(長崎県)

【生活彩家】

- 明大マート中野店(東京都)
- 明大マート駿河台店(東京都)
- 千葉工業大学 購買津田沼店(千葉県)
- 千葉工業大学 購買新習志野店(千葉県)
- 雲南市立病院 森のオアシス店(島根県)
- サンライフ周南協力会店(山口県)
- サンライフ周南店(山口県)
- 周南記念病院店(山口県)
- 戸畑総合病院店(福岡県)

【くらしハウス】

- 鳥取県立中央病院店(鳥取県)

トピックス1

株式会社ローソンとの山陰地区事業における共同運営会社設立

ポプラは、平成26年12月に株式会社ローソン(以下「ローソン」と)と資本業務提携し、商品開発や原材料の調達、店舗開発情報の共有などで協業を進めてまいりました。平成27年11月からは、双方のチェーンブランドの強みを活かしたダブルブランド店舗「ローソン・ポプラ」の先行実験店2店舗をオープンさせ、高いシナジー効果が確認できたことから、平成28年11月を目前に両社で共同運営会社を立ち上げ、山陰地区のポプラ加盟店及び直営店のうち「ローソン・ポプラ」へブランド移行する54店舗と、島根、鳥取のローソン235店舗の合計289店舗を共同で運営するエリアフランチャイズ事業を開始いたします。また、両社の店舗インフラ・配送インフラの段階的な共通化を促進し、更にスケールメリットを活かした効率性の高い店舗運営体制を整えてまいります。

「ローソン・ポプラ」店舗では、他チェーンとの差別化のためのキーアイテムとして、当社の「ポプ弁」を供給・販売していくなど、両社の強みを相互活用し、地域に根ざした、お客様に親しまれる店舗運営に取り組んでまいります。



四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期末 平成28年8月31日現在	前期末 平成28年2月29日現在
POINT 1 流動資産	4,300	3,991
固定資産	8,209	8,636
有形固定資産	4,876	5,108
無形固定資産	698	758
投資その他の資産	2,634	2,769
資産合計	12,509	12,628

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

科 目	当第2四半期末 平成28年8月31日現在	前期末 平成28年2月29日現在
POINT 2 流動負債	5,992	5,649
固定負債	3,778	4,085
負債合計	9,770	9,735
株主資本	2,511	2,666
その他の包括利益累計額	227	226
純資産合計	2,739	2,893
負債純資産合計	12,509	12,628

四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期 (累計) 平成28年3月1日から 平成28年8月31日まで	前第2四半期 (累計) 平成27年3月1日から 平成27年8月31日まで
POINT 3 売上高	16,103	18,170
営業収入	1,819	1,908
売上原価	12,542	14,235
営業総利益	5,380	5,843
販売費及び一般管理費	5,431	5,737
営業利益 (△損失)	△ 50	105
営業外収益	28	43
営業外費用	30	20
経常利益 (△損失)	△ 52	129
特別利益	4	72
特別損失	80	34
税金等調整前四半期純利益 (△損失)	△ 128	166
法人税、住民税及び事業税	30	31
法人税等調整額	△ 3	△ 4
四半期純利益 (△損失)	△ 155	139
親会社株主に帰属する四半期純利益 (△損失)	△ 155	139

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

営業総収入の内訳

	当第2四半期(累計)実績 (単位：百万円)	前年同期比 (%)
小 売 部 門	10,872	88.5
卸 売 上 部 門	4,167	83.3
加盟店からの収入	913	96.0
その他の営業収入	902	94.4
そ の 他 の 事 業	1,066	121.3
合 計	17,923	89.3

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

財務情報の開示について

詳細な財務情報については、当社ホームページの「IR情報」にて開示しております。下記のURLからご参照ください。

<http://www.poplar-cvs.co.jp/ir/>

POINT 1 流動資産

前期末に比較し308百万円増加し4,300百万円となりました。これは、主に現金及び預金が増加したことによるものです。

POINT 2 流動負債

前期末に比較し342百万円増加し5,992百万円となりました。これは、主に仕入債務が増加したことによるものです。

POINT 3 売上高

売上高の内訳の主なものは、当社直営店舗の小売売上高10,872百万円(前年同期比11.5%減)、フランチャイズ加盟店に対する卸売上高4,167百万円(同16.7%減)です。

トピックス2

ポプラグループの食の安全に対する取り組み

近年、食の安全・安心を求める消費者の声が高まる中、ポプラグループの弁当・むすび・惣菜を製造している製造工場の食の安全に対する取り組みが評価され、平成28年2月には、当社の製造工場であるポプラ広島工場が、広島県の「食品自主衛生管理認証」を取得し、同年6月には、ポプラ岡山工場が、平成28年度岡山県食品衛生大会において「岡山県知事表彰(食品衛生優良施設)」を受賞しました。

ポプラグループは、今後も徹底した衛生管理のもと、安全・安心で美味しい商品の提供に取り組んでまいります。



会社情報 / 株式情報

会社概要

(平成28年8月31日現在)

社名	株式会社ポプラ
本社	〒731-3395 広島市安佐北区安佐町大字久地665-1
資本金	24億1,013万7,725円
設立	昭和51年(1976年)4月20日
チェーン店舗数	509店舗
従業員数	397名
事業内容	当社は、フランチャイズチェーンシステムによるコンビニエンスストアの経営を主要業務として営んでおります。

主な子会社

(平成28年8月31日現在)

会社名	資本金(千円)	出資比率(%)	主要な事業内容
大黒屋食品株式会社	10,000	100	食品製造卸事業
ポプラ保険サービス 有限会社	3,000	(注)100 (73.3)	保険代理店事業
株式会社ポプラ・ プロジェクト	1,000	100	ローソン・ポプラ 店舗

(注) 出資比率には、間接所有分()を含めて記載しております。なお、その内訳は、当社26.7%、大黒屋食品株式会社73.3%となっております。

役員

(平成28年8月31日現在)

代表取締役会長	目黒 俊治	常勤監査役	宮崎 進
代表取締役社長	目黒 真司	社外監査役	白田 耕造
取締役副社長	中間 昭登	社外監査役	大野 勝美
取締役	野村 一雄		
取締役	市村 英世		
社外取締役	藏田 和樹		

コミュニケーションツールのご紹介

当社のホームページでも様々な情報を公開しております。

<http://www.poplar-cvs.co.jp/>



Corporate Data/Stock Data

株式の状況

(平成28年8月31日現在)

発行可能株式総数 36,160,072株
発行済株式の総数 9,905,822株
株主数 11,758名
第41期末に比べ715名増加しました。

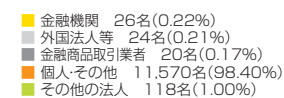
大株主(上位10名)

(平成28年8月31日現在)

株主名	持株数	持株比率
目黒 俊治	2,192,144 株	22.13 %
ポプラ協栄会	1,725,109	17.41
株式会社ローソン	495,300	5.00
ポプラ社員持株会	308,831	3.11
株式会社広島銀行	212,960	2.14
三菱食品株式会社	177,855	1.79
株式会社もみじ銀行	172,934	1.74
日本生命保険相互会社	166,060	1.67
東京海上日動火災保険株式会社	149,520	1.50
三菱UFJ信託銀行株式会社	133,100	1.34

(注) 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

所有者別株主分布状況



(平成28年8月31日現在)

所有者別株式分布状況



(平成28年8月31日現在)

株主メモ

事業年度 毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会 毎年5月に開催
期末配当金基準日 毎年2月末日
中間配当金基準日 毎年8月31日
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
同連絡先 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
(お問い合わせ先) 電話0120-094-777 (通話料無料)

公告方法 電子公告といたします。
公告掲載URL <http://www.poplar-cvs.co.jp/>
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。)

上場金融商品取引所 東京証券取引所市場第一部
証券コード 7601

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんので、ご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
- 除斥期間満了前の未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

